

シグマ研究委員会FP核データワーキンググループ 共鳴パラメータサブグループ会合議事録

1. 日 時 昭和57年8月25日(水) 13:30-17:30
8月26日(木) 9:15-17:00
2. 場 所 原研東海研究所研究2棟355号室(25日)
304号室(25, 26日)
3. 出席者 松延(住原工), 中島, 菊池(原研), 川合(NAIG),
瑞慶覧(日立; 26日のみ)

4. 議 事

4.1 一般報告

- オーストラリアのDr.Allenが9月29, 30日(未確定)が原研に立ち寄り, 講演とともにシグマ委員会活動を含めた情報交換を予定している。
- NEACRPによる大型高速炉燃焼のベンチマークの結果, FP核データライブラリーの間で大きな食い違いが見られた。(システム研の中川氏の出席報告に基く)
- 日本原子力学会の秋の分科会の日程の紹介

4.2 FP共鳴パラメータ評価の現状報告

松延: Xeアイソトープの評価作業を進めている。

菊池: Ndアイソトープの共鳴パラメータのファイル化を終了した。また, Moアイソトープについて, 現在ファイル化作業を進めており, あと熱中性子断面積によるNegative resonanceの調整が残されている。

川合: 担当核種の共鳴パラメータを全てTREPWW5コードで処理し, 一応評価値として採否できるデータを作成した。今後は, 核融合炉材料としての ^{93}Nb から評価を進める。

瑞慶覧: Eu~Tbについて, EXFORから落したデータに対してレベル識別番号をつけてREPSTOR入力データを作成した。今後, TSSにより

遂次 REPSTOR file を作成する予定である。

4.3 評価集中作業

- Nb-93, Cs-135, 137, Cd-113 の評価を進めた。
- Mo アイソトープの共鳴パラメータの熱中性子断面積による調整とファイル化
- Eu~Tb について REPSTOR file の作成作業

4.4 今後の対応について

- Mo…………… CASTHY グループに引渡す。
- Nb-93……大至急評価し、ファイル化を終了する。
- 他の核種…評価したものは、REPSTOR file に収納の上、BNL-325 第4編にある熱中性子断面積の再現性をチェックし、Negative resonantie 等による調整を行なう。

以 上